

キャラクター名  
大宮千春

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ブラックドッグ		ワークス	探偵	カヴァー	怪盗
	オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	感染	衝動	憎悪	初期侵食率	32	%
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	トラウマ	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	2	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンピストル	射撃	1r+3		8		命中判定の直前に宣言することで、1シナリオに3回まで攻撃に対するアクションのC値を+1する。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 情報収集チーム	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費
[Dロイス] 秘密兵器P		N		
		N		
		N		
		N		
		N		
		N		
		N		

最大財産P: 6    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:ノイマン	2	2	メジャー					
効果: 技能: シンドローム。クリティカル値を-LVする(下限値7)。								
コントロールソート	1	2	メジャー	武器		対決		
効果: 技能: <射撃>。このエフェクトを組み合わせた判定は【精神】で判定を行なえる。								
コンバットシステム	2	3	メ/リ			対決		
効果: 技能: <射撃>。このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+[LV+1]個する。								
急所狙い	2	2	メジャー	武器		対決		
効果: 技能: <白兵> <射撃>。このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[LV+2]する。								
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動		
効果: 戦闘不能になった瞬間に使用できる。メインプロセスを行なう。このメインプロセスは行動済みでも行なえ、行なっても行動済みにならない。また、このメインプロセスが終了するまで、戦闘不能の効果は適用されない。1シナリオに1回まで。								
戦神の祝福	1	20	メジャー	武器		対決	120%	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[LV+4]Dする。								
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身			
効果: 技能: <意志>。すべての<情報:>の代わりに使用して情報収集判定を行なえる。この時、判定のダイスを+LV個する。								
バリアクラッカー	2	4	メジャー	武器		対決	80%	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃に対して、相手はガードを行なえない。また、この攻撃に対してカバリングを行なった場合、ガードを行なったものとしてダメージを算出できない。さらに対象の装甲値を無視する。1シナリオにLV回まで。								
完全演技	1		メジャー	至近	自身	自動		
効果: 個人の人格を細部まで模倣する。必要に応じて<知覚>で判定。								
セキュリティカット	1	1	メジャー	至近	参照	自動		
効果: 建物のセキュリティを切ったり、電子的に施錠されたロックを解除するエフェクト。必要に応じて<知覚>か<RC>で判定。								

「この事件、絶対解決したんで！じっちゃんの名にかけちゃったりなんかして！」  
「通りすがりの、名探偵/怪盗ですよ」  
「子猫やからって、舐めてたら痛い目見るんやからね！」

猫耳帽子がトレードマークの探偵見習い。  
背丈も胸もない(成長期は終わった)ため、よく中学生に間違えられる。  
頭の回転が良い天才肌だが、集中力があまりなく勉強は苦手である。(低EDU高INT型)

その正体は、【遺産】の回収を専門とする怪盗『泥棒仔猫(ネームレス・キトゥン)』。  
彼女は探偵事務所の先代所長であった祖父の遺品を整理していた時、祖父の書斎から一通の手紙を発見する。  
千春に宛てられたそれには、実は彼女が【遺産】の回収を専門とする怪盗であったことが記されていた。  
加えて、手紙の結びには「私の代わりに【遺産】を集めてほしい」という遺言が綴られており、これにより千春は祖父をも超える探偵・怪盗になることを強く決心する。  
以来、祖父のコードネームを引き継ぎ、かつ未熟な自分への戒めとして「仔猫(キトゥン)」とし、昼は探偵、夜は怪盗という二つの顔を持ち暗躍している。

戦闘時には、遺言状とともに残されたワイヤー銃を武器に戦う。  
仔猫だからと侮るなかれ、うっかり仕留め損ねたならば、手痛い反撃が待っている。  
また、探偵業を営んでいるため、情報収集においてもめざましい活躍を見せられることだろう。

[Image Song]